2006 年 3 月 13 日

セクター：小売業

株式会社ビューカンパニー (3033 JASDAQ)

業績は安定的に成長しており、特に問題点は見当たらない

業績自体は、新規出店に伴って順調に拡大している。事務代行料なるものが営業外収益に計上されているために、経年的に営業利益＜経常利益となっている点が特徴的で、新規出店への依存度が大きい企業にありがちな有利子負債依存度の高さも当社の場合には見られない。

会社発表の今期業績予想ベースEPS約70円に、小売業平均PERとして25～30倍と考えれば、株価水準としては1,700～2,000円となり、1,000円近辺で想定されている公募価格には割安感がある。銘柄としては地味な業態だが、割当が 2,000 単元以下となる希少性と、1 取引単位が 100 万円を超える点が、特徴的になっている。

個別データ (左肩は対前年比 (%))

決算期	04/2	05/2	05/8中	06/2会予
売上高 (百万円)	8,225	13.4% 9,324	5,182	13.4% 10,577
営業利益 (百万円)	287	44.1% 414	289	--
経常利益 (百万円)	394	38.0% 544	356	27.0% 691
当期利益 (百万円)	157	62.0% 254	186	41.1% 359
総資産 (百万円)	4,239	4,838	5,219	--
純資産 (百万円)	734	965	1,118	--
株主資本比率 (%)	17.3%	19.9%	21.4%	--
ROA (%、経常利益ﾍﾞｰｽ)	9.3%	11.2%	6.8%	--
ROE (%、当期利益ﾍﾞｰｽ)	21.4%	26.4%	16.7%	--
発行済株式数(修正後、千株)	5,050	5,050	5,050	5,050
EPS(円/株)	31.1	50.4	36.9	71.1
BPS(円/株)	145	191	221	--
配当(円/株)	6.66	8.33	--	--

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。

事業概要～婦人靴を中心とした靴の小売専門店

当社は 06 年 2 月時点で、北海道 4 店舗、東北 3 店舗、関東 19 店舗、北陸･甲信越 5 店舗、中部･東海 8 店舗、近畿 39 店舗、中国 4 店舗、四国 4 店舗、九州 3 店舗の合計 89 店舗を擁して、靴の小売専門店を事業展開している。

事業部門は下記の 4 分野に区分される。店舗名は、「VIEW」、「Vju:」、「Ici」、「ESSEnCE」、「muse」、「SHOES WORLD」、「MEGA STAGE」で展開している。当社の主力商品であるケミカルシューズは、革製品に比べて価格は半分以下と格段に安く、量産が可能である。当社は、神戸市長田区のメーカーと協力して流行を捉えた婦人向けのオリジナルブランド商品の開発に注力している。また、ヤングアダルトを中心に人気のある一流デザイナーズブランドやイタリアを中心としたヨーロッパのインポートブランドの中からセレクトした商品を取り扱っている。

【表 1 各事業部門とその特長】

婦人部門	**ケミカル商品を中心に、リーズナブル価格でファッション性の高いパンプス･サンダル･ブーツと履き心地を重視したカジュアル靴、今フォートシューズ**
紳士部門	**カジュアルシューズ、ウォーキングシューズ**
スニーカー部門	**ナイキ、アディダス、プーマなどブランドスニーカー**
その他	**特価商品と靴関連の付属商品**

収支の状況～新規出店による規模拡大で、安定的に業容は拡大

05.2 期は期中の新規開店 10 店舗、閉店 2 店舗、05.8 中間期は期中の新規開店 7 店舗で閉店 0 と一定のペースで店舗数を増加させており、店舗数の増加に比例して業績は向上している。05.2 期は既存店の売上高は対前期比+0.9%と、商品拡充や改装等によって、前年度水準を維持している。

【表 2 事業部門別販売実績（百万円、%）】

	05.2 期	前期比	05.8 中
婦人部門	5,427	+18.6%	3,024
紳士部門	708	+3.6%	403
スニーカー部門	3,001	+6.9%	1,560
その他	185	+17.6%	193
合計	9,323	+13.3%	5,181

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。

今後も、従来通り、郊外型ショッピングセンターへの出店を継続すると共に、都心部の駅ビルや益に隣接する大型複合ビルなどへの出店を視野に入れて、積極的にテナント出店していく方針となっている。当面の店舗数の目標は 200 店となっている。

利益面では、売上高営業利益率が約 4%程度と、小売業態としては標準的な水準となっている。当社の場合に特徴的なのは、営業外収益に事務代行料として約 1 億円が毎期計上されている点にある。この営業外収益の貢献によって、経常利益が継続的に営業利益を上回ることになっている。

有利子負債への依存度（総資産に占める割合）は 30%程度であり、低い水準ではないものの、積極的な店舗展開を行っている企業として見た場合には、決して高いウエイトとはなっていない。負債ウエイトに関しては、特に注意する必要はないだろう。

減損会計の前倒しは実施されておらず、06.2 期決算から反映される予定。特に問題となる可能性が高い固定資産は土地だが、当社の場合には 05.2 期末の土地簿価は 34 百万円しかなく、減損リスクは業績に大きな影響を与える可能性は低いと考える。

株式の状況～ストックオプション無し、発行済み株式数の約半数はロックアップ対象

当社は 05 年 11 月に 1:15 の株式分割を実施し、06 年 3 月時点の発行済み株式数は 4,050 千株（1 単元は 1,000 株）、上場にあたっての公募が 1,000 千株、売り出しが 540 千株（売り出し元は会社関係者 50 千株とベンチャーキャピタル 150 千株）、オーバーアロットメントによる売り出しが 200 千株予定されている。ストックオプション等の希薄化要素は存在しない。以上から、上場時点での想定発行株式数は、5,050 千株とした。

目論見書での想定発行価格は 1,000 円で、この価格に基づく公募による当社手取り概算額は 919 百万円とされている。資金使途は、次年度以降の新規出店等、今後の事業拡大に向けた資金需要に充当する予定。つまり、具体的な使途は決まっていないことを意味している。

ベンチャーキャピタル保有株式数は 450 千株で、一部はオーバーアロットメントを含む売り出しの対象となっている。この VC と会社関係者の一部には 180 日間のロックアップが付与されている。（但し、発行価格の 2 倍以上での売却は可能。）ロックアップの対象株式数は、売り出し対象を含めて約 3,527 千株なので、実質的には売り出し･OA 分を除いた約 2,787 千株となる。

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。

情報開示の状況～開示無し

当社のウエブサイトには 3 月 13 日時点で、投資家向け情報開示のページは設置されていない。上場に関するニュースリリースも掲載されておらず、上場そりものに対する姿勢が消極的に見える。

本資料における個別銘柄に関する注意事項

- EPS･BPS･株主資本比率の計算の元となる、純資産･総資産･株主資本は、各決算期末時点の会社公表数値を用いている。発行済株式数は、自己保有株を含まない。また、株式分割･公募増資･自己株買い入れ等を必要に応じて過年度を含めて修正している場合がある。
- 一株当りの配当は、株式分割･公募増資･自己株買い入れ等を必要に応じて過年度を含めて修正している場合がある。

その他の重要な注意事項

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資対象となる有価証券の価値や投資から得られる収入は、証券価格の変動のほか、発行体の経営･財務状況の変化、金利や為替相場の変動やその他の要因によって変化する可能性があり、投資額を下回る場合があります。また過去の実績は必ずしも将来の成果を示唆するものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。

本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性･完全性を保証するものではありません。また、本資料に記された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料の著作権は当社に帰属し、その目的のいかんを問わず無断で本資料を複写･複製･配布することを禁じます。

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的とし、証券の売買勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。最終ページに当資料の利用に関する重要な注意事項を掲載していますのでご覧ください。